

ほのぼの

秋晴号
2024.10

発行：越前町国民健康保険 織田病院 福井県丹生郡越前町織田 106-44-1
TEL (0778) 36-1000 病院ホームページ <http://ota.jadecom.or.jp>

当院は良質の医療を提供していくために
病院機能評価認定を取得しております。

基本理念：私達は公平公正な地域包括医療を実践し、全ての地域住民の心身共に健康な生活と地域の発展を支援します。

基本方針：1. 私達は患者様の立場に立った安全で質の高い心のこもった医療を実践します。

2. 私達は常に研鑽に励み、医療水準の向上に努めます。

3. 私達は明るく働きやすい職場をつくり、全員によるチーム医療を推進します。

4. 私達は地域の保健・医療・福祉機関と連携し、住民の健康増進を目指します。

5. 私達は自治体病院として、透明性の高い合理的な病院運営に努めます。

もくじ

●管理者・病院長・看護師長あいさつ

●Drの小話・医療機器の紹介

●新スタッフ紹介・看護日記

●Good Recipe

●体操コーナー

付属：おた訪問看護ステーション

おた居宅介護支援センター広報誌「おた福」

「夏祭り」

越前町国民健康保険織田病院 管理者 津向 伸哉

小学校の分校に通っていた小学生のころ、近所のお宮さんの秋祭り。祭り囃子や屋台に、子供心に大きなときめきを感じたことを昨日のように思い出します。

8月24日織田病院・サービス付き高齢者向け住宅 海士里・児童デイサービス ステップ合同の夏祭りを開催させていただきました。ご協力をいただいたボランティアの方々、お忙しい中ご参加頂いた皆様に深く御礼申し上げます。

ミャンマーの娘さんの浴衣や民族衣装、焼きそばやフライドポテトとの格闘など、思い出が沢山出来ました。なによりも、皆さんの生き活きとした笑顔に、29年間の織田病院での医師生活の集大成を見た思いがしました。この笑顔を見たくて、地域医療を継続して参りました。真に医師冥利につきます。今まで一緒にすごしていただいた、職員・地域住民の方々・役場の方々・仕事人間の自分に文句も言わずに見守ってくれた家族に、心から感謝申し上げます。

織田病院複合体は、単なる医療機関ではありません。地域に根ざし、辛苦と喜びと未来も共にする地域共同体の一部です。お祭りは、ネットで調べると、「単なる娯楽ではありません。人々の思いや願いに触れ、生きる喜びを分かち合い、地域社会との繋がるところ。その営みに、またたくさんの人を引き寄せ、知られる場所となるのです。お祭りを通して今を語り継ぎ、知恵を集め、新しきことを生み出すきっかけになればと思います。」とできます。

来年も、織田病院複合体の夏祭り（時期は春か秋に変わるかもしれませんが）は継続します。ぜひご参加ご協力を御願い申し上げます。



「医師の働き方改革」

病院長 根本 朋幸



今年の夏は猛暑を超えて酷暑と言われるほど暑く、日本の気候が変わってしまったように感じられます。台風10号は各地で豪雨・暴風を引き起こし、日頃から防災に取り組んでいても、個人レベルでは対応が難しくなってきました。温暖化が進む中、よく考えないと思わぬ方向に進んでしまうのではないかと思います。

2024年4月から医師の働き方改革の新制度が施行されました。時代の流れの結果ではありますが、労務管理の徹底、労働時間の短縮により医師の健康を確保し、すべての医療専門職それぞれが、自らの能力を活かし、より能動的に対応できるようにすることで、質・安全が確保された医療を持続可能な形で患者に提供することを目指しています。改革の主な対策としては、時間外労働の上限規制と健康確保措置の適用が挙げられます。医師派遣、救急医療、研修する医療機関は年1860時間、それ以外は一般労働者と同じ、年960時間が上限となっています。質の良い安全な医療には休息時間の確保も重要で、連続勤務時間制限と勤務間インターバル規制も必要とされています。

医師の健康と良質な医療の提供にとって良いことですが、地域医療には暗い影を落としています。地域医療を担う医師の不足や都市部と同じような医療の提供のためにこれまで時間外労働に目をつぶってきました。今回の法改正で過渡期として地域での医師不足が顕在化してきます。当院では、外来診療と宿日直のため医師派遣が可能な病院から医師を受け入れていますが、連続勤務、勤務間隔の問題から制限がかかる状態です。夜間などの時間外患者さんへの対応も必要な医師の配置があって可能になってきます。十分な医師がいない地域医療を持続可能にしていくためには、医師を増やすことができれば良いですが、効率を上げなければ人件費が増加する懸念があり、世間の流れとしては負担軽減が求められています。

医療現場ではタスクシフト/シェアが進んできており、当院でも実践しています。医師事務作業補助者による診断書の文書作成や電子カルテへの代行入力などは既に行われています。さらに、薬剤師による処方オーダーの代行も医師と連携して行っています。また、感染対策管理、認知症ケアでは看護師が主軸となり、栄養管理、褥瘡管理、口腔衛生管理では、管理栄養士、言語聴覚士が主体となって医師をサポートしてくれています。当院にはまだ在籍していませんが、医師の判断を待たずに一定の診療補助業務(特定行為)が実施できる特定看護師も今後増えてくると思います。

今後は、医師不足を補うためには都市部基幹病院と地域を担う病院との連携も重要です。そのかぎを握るものはICT(情報通信技術)です。地域にとってますます様々な形の遠隔診療が取り入れられ、地域医療の問題を解決してくれるのではないかと期待しています。

福井県では第8次福井県医療計画が策定されましたが、その取り組みとして、これまで小児では運用されていたこどもの救急医療電話相談(＃8000)に加え、2024年10月からおとなの救急医療電話相談(＃7119)がスタートすることになりました。相談時間は24時間360日で救急車を呼ぶか、病院に行くか迷った時に相談する窓口になっています。2022年度の福井県での救急搬送人数に占める軽症者の割合は41.7%となっており、相談による救急車運用の適正化は持続可能な医療の提供のためには必要だと思います。

今後人口減少社会に突き進んでいる中、医療においても選択と集中は避けられないと思っています。日本全国のどこに住んでいても、利便性の高い良質な医療が提供される時代は終わり、専門診療と一般診療がより明確化され、医療のために住む場所を変える時代になっていくのではないかと思います。現状を正しく認識し、流れに安易に身を任せず、積極的に働きかけていかないとどこに漂着するかわからなくなってしまうと思います。

織田病院は、地域住民の期待に応え、良質な医療を提供し続けるために、努力を惜しまず取り組んでまいります。

「ナーシングケアおた」

看護師長 富永 直子



爽やかな秋風を感じる頃となり、実り多い秋を迎えられていることと存じます。

日頃より、「おた訪問看護ステーション」の運営に際しまして、温かいご支援とご協力をいただき、ご利用様はじめ、ご家族様、地域の皆様、他医療機関の皆様に心より御礼を申し上げます。

さて、この6月に看護小規模多機能「ナーシングケアおた」が開設いたしました。4か月目を迎え、深い感謝と共に、日ごと、重大な責任を痛感しております。

「看護小規模多機能」は入院と施設の中間型で、「泊まり・通い・訪問看護・訪問介護」の4つのサービスをご利用様の状況やご希望に合わせて柔軟に提供する地域密着型の事業所です。医療依存度の高い方や退院直後の状態が不安定な方、在宅での看取りを希望される方のご支援も可能です。主治医の指示のもと、日々、看護と介護が連携し、医療処置やケアを行っております。病院隣接ですので、身体症状等にご不安をお持ちの方も安心してご利用いただけます。

「ナーシングケアおた」はやさしさと思いやり、チームワークを大切にしております。ご利用様もご家族様も、私たちも、共に笑顔で過ごすことができますよう、より良いサービス提供に努めてまいります。「おた訪問看護ステーション」共々、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「骨折リエゾンサービス（FLS）の導入」

整形外科 青木 希望

超高齢化社会である現在、要支援・要介護認定者数は約 700 万人であり、そのうちの約 15% が骨折・転倒を原因としております。中でも大腿骨近位部骨折の年間発症者数は 25 万件を超え、今後も増加の一途をたどり 2030 年には年間 30 万件に達することが予想されています。大腿骨近位部骨折を呈した患者は下肢筋群の筋力低下等を認め、対側の近位部骨折や再転倒のリスクが高くなることが報告されています。大腿骨近位部骨折後の反対側の骨折は二次骨折と呼ばれ、わが国の報告では二次骨折までの平均期間は約 4 年とされています。すなわち、一度大腿骨近位部骨折を生じると 4 年以内に反対側も骨折する可能性が高いということです。

骨折を予防する方法の 1 つとして骨粗鬆症治療が重要であります。しかし、厚生労働省の国民生活基礎調査によると、椎体骨折（大腿骨近位部骨折と同様に骨粗鬆症治療が必要な骨折）で受診した患者の 7% しか薬物治療が開始されておらず、さらに 2 年後に継続されていたのはそのうち 9% 程度であったと報告があります。つまり、骨粗鬆症治療が必要な患者さんがいても、適切な治療がほとんどされていないというのが現状です。

二次骨折を予防する取り組みとして、イギリス発症の「骨折リエゾンサービス（Fracture Liaison service : FLS）」があります。日本では、大腿骨近位部骨折術後の患者さんに対して入院中および退院後外来治療（1 年間）に対して FLS チームで積極的に介入できるシステムが導入されました。日本各地で広く浸透しており、織田病院でも 2024 年 6 月よりこの取り組みを開始しております。FLS の「リエゾン」はフランス語で「連携」を意味しております。FLS チームは、医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、医療ソーシャルワーカーなどで構成されております。それぞれの専門性を生かした多職種協働で二次骨折の予防に取り組んでいきます。

織田病院でも 7 名の患者さんが適応となり、FLS チームで介入させていただいております。7 名とも、入院時の検査では骨密度が低く、骨粗鬆症治療がされていないもしくは追加治療が必要な状態で骨折リスクが非常に高い状態でありました。織田病院の地域では二次骨折「ゼロ」を目指して精一杯取り組んでいこうと思います。

二次骨折予防についてここまで記載させていただきましたが、初回骨折を防ぐ一次予防が最も重要です。骨粗鬆症治療検査を検討している方や、現在骨粗鬆症治療しているが長年治療の見直しをされていない方は気軽に整形外科を受診して相談していただければ幸いです。



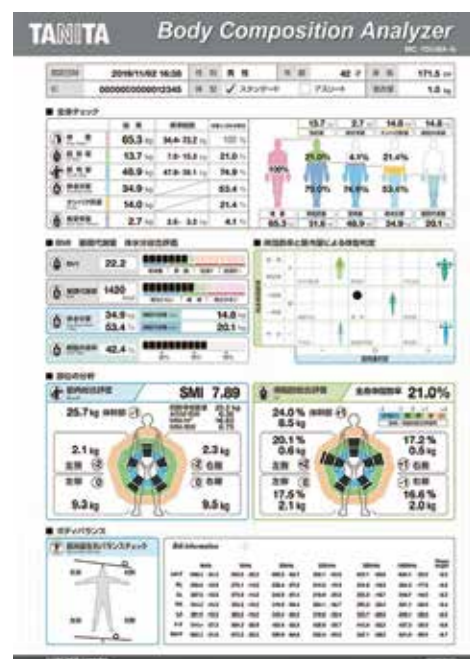
新しい医療機器のご紹介

体成分分析装置

体成分分析装置について紹介します。

水分を多く含む筋肉は流れやすく、水分を含まない脂肪は電気が流れにくい、というように体内の成分にはそれぞれ異なる電気的特性があります。これを利用して、体内の水分量、筋肉量、脂肪量、タンパク質量、基礎代謝量などを測定するのが体成分分析装置（体組成計）です。家庭向けでも簡易的な体組成計が販売されていますが、当院に導入している医療向け装置（タニタ MC-780MA-N）ではより正確に測定することができます。

測定結果のうち筋肉量指数では栄養状態を評価することができます。部位ごとの筋肉量からは左右の筋肉バランスを確認して、リハビリテーションの効果を評価することもできます。体成分分析には保険診療で行われますが、当院では一部の健康診断にオプションとしてご利用いただくこともできます。



新スタッフ紹介



看護部 看護師 上島百合江

私は今まで療養病棟、消化器内科、精神科で主に内科病棟で勤務してきました。

整形外科の患者様と関わるのは初めてなので、しっかり勉強して関わっていきたいと思います。



でいっぱいです。

今後も日々少しずつ成長していけるように精進するとともに、心のこもった看護の実践に努めていきたいと思います。

昨年8月に織田病院に入職し、約1年が経ちました。

この1年をふり返ると、たくさんのスタッフ、患者様に多くのこと教わり、支えられ、励まされ、元気づけられた1年間であり、感謝の思い



Good Recipe

キウイビネガー

<材料> ※保存瓶は 1L 瓶を使用

キウイ（ゴールドen・グリーン）	300g
氷砂糖	300g
食酢（リンゴ酢・穀物酢・米酢）	300ml

<作り方>

1. キウイは皮をむき、0.5cm 幅で輪切りにする。
2. 消毒した清潔な瓶（瓶は 80℃以上で 5 分煮沸消毒おこなう）に、キウイと氷砂糖を交互に入れる。



ポイント

最後に氷砂糖になるように入れると果実の風味を引き出すことができる！

3. 食酢を入れ、ふたを閉める。冷暗所で保存し、氷砂糖が溶けるまで、1 日 1 回瓶をしたまま軽く振り混ぜる。約 1 週間程度で完成！



★ビネガー使用しアレンジ料理★

キウイラッシー

<材料>

キウイビネガー	大さじ 2
漬けたキウイ	100g
牛乳	200ml
プレーンヨーグルト	100g

<作り方>

1. 漬けたキウイをザク切りにする。
2. 牛乳、プレーンヨーグルト、キウイビネガーをミキサーで混ぜる。
3. グラスに 1 を入れ 2 をそそいたらキウイラッシーの完成！



体操コーナー

今回のテーマは猫背を治そうです。猫背になると見た目が悪かったり、肩こりや腰痛の原因になったりするだけでなく、実は太りやすい身体になってしまうのです。理由は内臓の位置がずれ、消化管の機能が低下するからと言われています。

これから食欲の秋を迎え、ついつい食べ過ぎちゃう時があると思います。ストレッチで猫背を改善し、太りにくい身体を手に入れましょう。



① 肩甲骨を引き寄せるストレッチです。指先を内側にして、椅子の背もたれに手をかけます。



② 肩甲骨を引き寄せるストレッチです。指先を内側にして、椅子の背もたれに手をかけます。



③ 太ももの後面（ハムストリングス）を伸ばすストレッチです。仰向けに寝て、膝を曲げ胸に近づけ、両手で足首を持ちます。



④ 足首を持ったまま足を上げ、胸をつき出して、太もも後面に伸びを感じたら、7 秒間キープします。



⑤ 足首を持ちづらい場合、片足ずつ膝の裏に両手を入れて太ももを抱えてこのように伸ばしても大丈夫です。



⑥ 骨盤のバランスを整えるストレッチです。片膝立ちで、同じ側の肘をまげて腕を上げます。反対側の手は腰に当てます。



⑦ 体をひねり腰に伸びを感じたら、7 秒間キープします。



⑧ 反対側も同様に伸ばします。



外来診察医師担当表

診療科目 コース	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
①	金田 (皮膚科)		青木 (内科)		若杉 (内科) マツダ直樹		青木 (内科)	北崎 (消化器内科) (12:00~15:00)	交代制 飯井大輔・榎本浩二・沼田真澄 (内科)		交代制	
	服部 (内科)	青木 (内科)	三上 (内科)		青木 (内科)		服部 (内科)	服部 (内科)	服部 (内科)		若杉 (内科) 大寺昭雄	伊藤 (内科) 中村孝・上野謙二 ・菅原
②	根本 (消化器内科)		近藤 (内科)	近藤 (内科)	根本 (内科)		近藤 (内科)		三上 (内科)	三上 (内科)		
	三上 (内科)		交代制 海井直樹・菅原謙二 (消化器内科) マツダ直樹		山中 (消化器内科)	山中 (消化器内科)	館田 (内科)		森田 (内科)	森田 (内科)	山田 (内科)	高橋 (消化器内科) 大田
内視鏡室	近藤	根本							根本	根本		
内視鏡	近藤	近藤	近藤	根本	根本		近藤		根本	根本		
健診	近藤		近藤 高田 三上		根本 青木		近藤 高田 青木		根本			
③ (整形外科)	津向	津向 (人工関節外科)	津向		津向		津向		津向		第1・3交代制	
	青木系	青木系	青木系		青木系		青木系		青木系			
(小児科)	矢島	矢島 *(13:00~15:00) (15:00~)	矢島	矢島 *(13:00~15:00) (15:00~)			矢島	矢島 *(13:00~15:00) (15:00~)	矢島		矢島	
	~13:00~15:00、15:00以降は予約診療、又は相談											
(眼科)		藤本 (小児科)		藤本 (小児科)						藤本 (小児科)		
			持地			大淵 鈴木 (小児科)	鈴木		大淵			
(耳鼻咽喉科)	小山										菅野	
(放射線科)	木村		木村		木村		木村		木村		高田 竹内	交代制

受付時間：7：50～11：30 13：30～16：30
診察時間：8：45～12：00 14：00～17：00

※午後は診察がない曜日もありますので、事前にお確かめください。
※学会参加等のため休診になることがありますのでご了承ください。
※休診や診療変更などは当院のホームページで随時お知らせしています。
※電話でのお問い合わせは☎0778(36)1000 までお願いします。

編集後記
今号も織田病院広報誌「ほのぼの」をご覧いただきありがとうございます。
夏の暑さも落ち着いてきて過ごしやすい季節になってきました。今年はおリンピックもあり、金メダルの数、総数が海外大会の最多を更新したとのニュースもありました。常に高みを目指し、結果を出し続けるスポーツ選手を支えるサポーターの方の努力を感じました。私たち医療従事者も向上心を忘れず、患者さんに還元できるように常に研鑽を続けていくことの大切さを再度確認した出来事だったと思います。

当院までの交通アクセス

★お車での所要時間★



- ・福井市から 約 40 分
- ・旧清水町から 約 20 分
- ・旧越前村から 約 40 分
- ・越前市から 約 30 分
- ・鯖江市から 約 30 分
- ・旧朝日町から 約 15 分
- ・旧宮崎村から 約 10 分
- ・旧越前町から 約 15 分
- ・旧河野村から 約 20 分

★公共交通機関での順路と所要時間★



※織田バスターミナルより、越前町コミュニティーバスが運行しておりますのでご利用ください。

旧清水町から

- ・県道 3 号福井大森河野線沿線から→京福バス 79 系統清水グリーンライン線（織田行）乗車、織田バスターミナル下車、徒歩 20 分

越前市方面から

- ・越前武生駅、JR 武生駅、八田、榎津、江波から→福鉄バス 越前海岸線（かれい崎行）乗車、織田病院又は織田病院口下車すぐ

福井方面から

- ・田原町、福井駅、赤十字病院、ベル前から→福鉄バス福浦線（かれい崎行）乗車、織田町病院又は織田病院口下車すぐ
- ・福井駅、赤十字病院、清水プラント 3 から→京福バス 79 系統清水グリーンライン（織田行）乗車、織田バスターミナル下車、徒歩 20 分

鯖江方面から

- ・JR 北鯖江駅、神明駅、アルプラザ鯖江、越前町役場（西田中）、江波から→福鉄バス鯖浦線①（織田行）乗車、織田バスターミナル下車、徒歩 20 分
- または②（かれい崎行）乗車、織田病院又は織田病院下車すぐ

越前町内から

- ・越前町コミュニティーバス「フレンドリー号」が各線織田病院前まで運行しておりますので、ご利用ください。（前日午後 5 時までのデマンド運行予約が便利です。詳しくは越前町企画財政課 0120-34-2228（フリーダイヤル）まで

